

2009年3月26日

各 位

オリックス株式会社

水処理 E S C O 契約を第一工業製薬と締結 ～環境配慮投資を支援する新会社を活用した第一号案件～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄）は、このたび、温室効果ガス削減を目指した投資を行う際の資金面をサポートするグリーン・リザーブ株式会社（オリックス100%出資）を活用して、株式会社滋賀銀行（本店：滋賀県大津市、頭取：大道 良夫）および株式会社紀陽銀行（本店：和歌山県和歌山市、頭取：片山 博臣）と連携し、第一工業製薬株式会社（本社：京都府京都市、社長：大柳 雅利）など2社に対して環境負荷削減投資を実施しましたのでお知らせします。

今回、契約を締結した第一工業製薬株式会社（本社：京都府京都市、社長：大柳 雅利）は、滋賀事業所に廃水処理設備を新しく導入しました。新しい設備では、オゾンにより工場排水の難分解性有機物を分解・微細化して微生物処理を行い、さらにろ過処理を行うことにより、汚泥の排出量を減少させ、汚泥焼却時の温室効果ガスを抑制することが可能になります。これにより、1年間でCH₄（メタン）0.29kg、N₂O（一酸化二窒素）13.6kg、削減を見込んでおり、CO₂に換算すると約300本の杉が1年間に吸収する規模に相当します（環境省地球局『算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧』より算出）。

オリックスは、2002年に環境エネルギー部を設立し、エネルギーサービス事業（コージェネレーション、燃料転換）やESCO サービスの提供をはじめ、バイオマス発電事業、排出権クレジット仲介業務などに取り組んできました。2009年3月1日の機構改革に伴って新設した環境エネルギー事業担当は、環境関連ビジネスに携わる人員を増員するとともに、グループ会社（オリックス環境、オリックス資源循環など）を統轄することで、さらなる一体化を図り、より大きなビジネスへつなげていきたいと考えています。

今後も、オリックスのESCO 事業のノウハウと、地域に密着した強いリレーションを持つ金融機関の連携により、新たな環境配慮ビジネスを発掘・開拓し、地域社会へ貢献してまいります。

以上

< 本件に対するお問い合わせ先 >
社長室 広報担当：宮木
TEL：03-5419-5102